

地域の

公共施設の 未来を考える ワークショップ



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

【第3回】 高津区

令和 6年 7 月 20日 (土)

14:00~17:00



はじめに (1/2)

- 本市では、市民の皆様の活動等の場となる様々な公共施設を保有しています。
- 今後見込まれる人口減少や老朽化といった問題が生じる中、公共施設が将来にわたって必要な機能を提供していくためには、「今ある公共施設を大事に賢く使っていくこと」が重要です。
- こうしたことを踏まえ、本市では、令和3年度に『資産マネジメント第3期実施方針』を策定しました。

はじめに (2/2)

- 現在、この方針に基づき、公共施設において、より最適な機能を提供できるようにするため、市民の皆様と意見交換を重ねながら資産マネジメントの取組を進めています。
- そうした中、昨年度は川崎区・幸区・高津区・麻生区のモデル地域において、第1回・第2回ワークショップを行いました。
- 今年度は新たな参加者の方々にも加わっていただき、第3回から第5回までのワークショップを開催する予定です。

- ・ 記録作成のため、スタッフが写真撮影をします。
NGの方はお近くのスタッフまでお知らせください。

本日の進め方

14:00 川崎市からの説明

14:15 本日の進め方

14:20 意見交換①（60分）

起点施設周辺エリアの将来像（暮らしやすいまち）を考えよう

15:20 - 休憩 - （10分）

15:30 意見交換②（65分）

起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズを考えよう

16:35 発表・まとめ

16:55 今後の予定・アンケート記入

17:00 閉会

1

川崎市からの説明

1 川崎市からの説明①

本市の公共施設について

本市の公共施設について



学校



市民館



図書館



老人いこいの家



こども文化センター



スポーツセンター

公共施設は、**市民の日常生活に必要な様々なサービスを提供**しています。

こうした公共施設が**地域の様々な場所**にあります。

本市の公共施設について

地域活動のために
話し合いたい！

多世代の交流イベントを
開催したい！

講座を受講
したい！

作品の発表を
したい！



仲間と体を
動かしたい！

地域では、様々な活動で**公共施設が活用**されています。

将来にわたって公共施設は地域における活動の場としての役割
を果たしていく必要があります。

本市の公共施設について

一方で、公共施設にはこのような課題もあります。



仕事後の夜に使いたいのに
施設が閉まっている

空いているようだけど
個人では使えない



利用対象が団体に限定されていて利用できない。

年齢により利用対象が限定されていて利用できない。

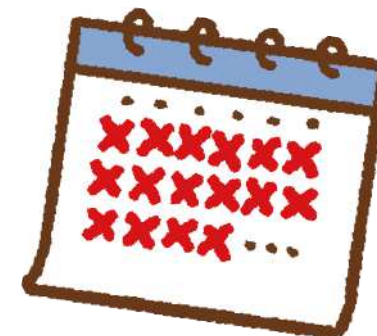
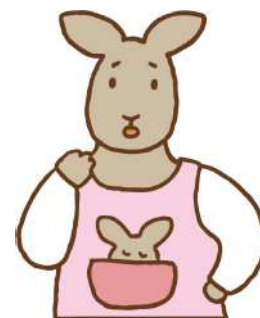
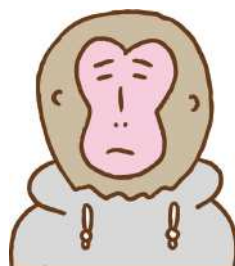
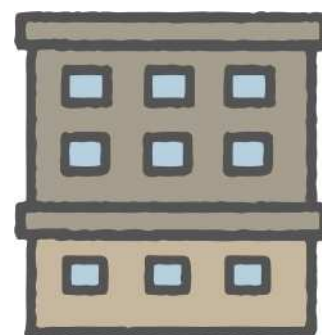
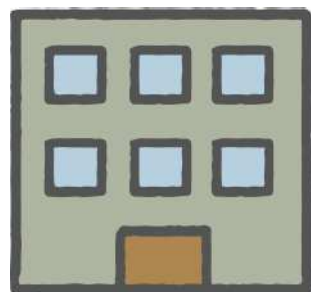


利用可能な時間帯と利用したい時間帯が合わず利用できない。



利用率が低いにも関わらず利用可能なことが知られていない。

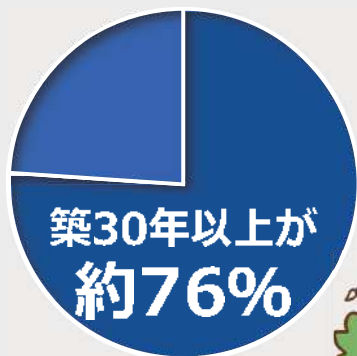
本市の公共施設について



多様な市民ニーズに対し、
公共施設が利用できない・利用されていないという、
ニーズと現状に「ずれ」が発生している状況です。

本市の公共施設について

10年後の公共施設の築年数



※令和3年3月末時点の公共施設の面積を基準とした場合

川崎市の将来人口推計



人口減少や老朽化した建物の
維持管理・更新の問題



市民1人あたりの費用負担
の増大が見込まれている



全ての公共施設をこれまでと同様に更新していくことは非常に困難な状況

本市の公共施設について

- ・ 今後見込まれる人口減少や老朽化といった問題が生じる中、公共施設が将来にわたって必要な機能を提供していくためには、**今ある公共施設を大事に賢く使っていくことが重要です。**
- ・ 今ある公共施設の使い方を変えて「**ずれ**」を解消することにより、**ニーズに合った公共施設**としていくことが可能となります。

例えば、

夕方、校庭を使っていないなら
ボール遊びをしたいなあ…



利用されていない時間帯（隙間）を活用することで、
ニーズに応えることができると思っています。

地域ごとの 資産保有の最適化について

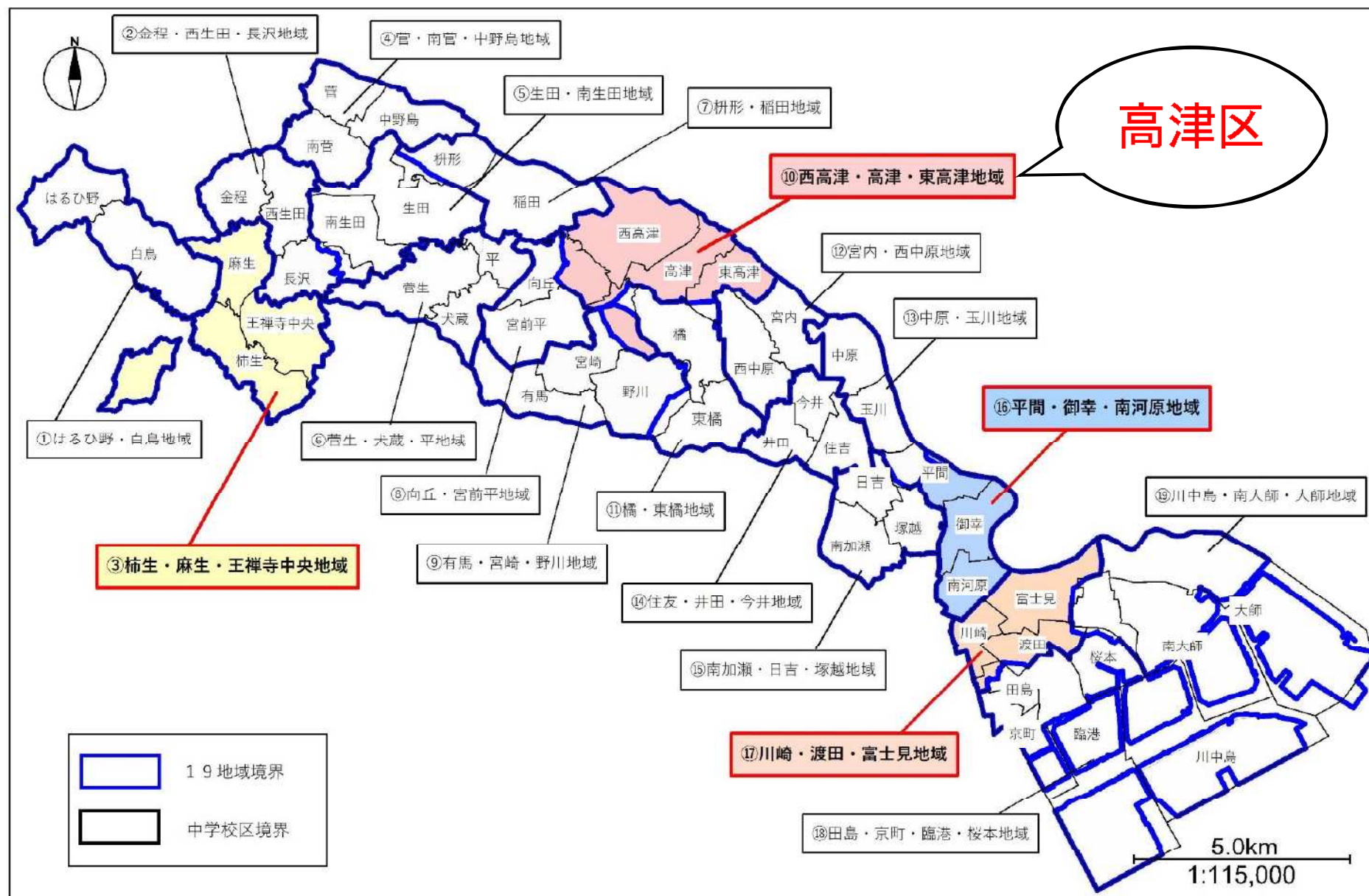
地域ごとの資産保有の最適化について

－ モデル地域の選定 －

- 地形、鉄道路線、バス路線等の状況、町内会・自治会のエリア等を踏まえ、2～4程度の中学校区単位を基本とする19の「地域」を仮設定しました。
- この中から施設の規模・老朽度・利用状況等を基に、**モデル地域として4地域を選定**し、令和5年度から検討を進めています。

地域ごとの資産保有の最適化について

- モデル地域の選定 -



1 川崎市からの説明③

～昨年度の振り返り～

昨年度の振り返り – ワークショップ日程 –

地域ごとの資産保有の最適化に向けた検討を市民の皆様と一緒に進める
取組の一つとして、令和5年度からワークショップを実施しています。

令和5年度

第1回

カワタン
体験会

第2回

モデル
地域の
将来像・
施設の
使い方を
考える

令和6年度

第3回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討①

第2回で話し合ったモデル地域の将来像等を踏まえ、その実現に向けて起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ等を考える

第4回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討②

前回に引き続き、具体的な施設を基に考える
※班ごとに第3回とは別の施設を考える予定

第5回

これまでの検討の共有、成果のまとめ

班ごとに行っていた検討を全体に共有し、参加者相互に意見交換を行いながら、各施設の使い方等を成果としてまとめる。

昨年度の振り返り – 第1回の様子 –

第1回では、資産マネジメントの取組を理解していただくために、
公共施設の未来体験ゲーム「カワタン」を体験していただきました。



昨年度の振り返り – 第2回の様子 –

第2回では、地域の魅力的な将来像や、将来像を実現するための公共施設の使い方を考えていただきました。

意見交換の流れ

意見交換①

65分

地域の魅力的な将来像を考えよう

20年後の世界に住む人について考える＝ペルソナ

その人々が暮らす将来の地域についてみんなで考える＝将来像



徒歩圏内に地産地消の食材を使ったカフェやお店が増えて、遠くからも訪れる人が増えた

若者が起業したくなるおしゃれなワークスペースがあると良い

AIがサポートする地域交流ネットワークで近くに住民同士がゆるやかにつながるまち

中間発表・休憩

意見交換②

60分

地域の魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えよう

将来像の実現のために公共施設がどのように使えるとよいか考える＝アイデア

市役所に地元野菜をふんだんに使ったおしゃれなカフェ・レストランがある

社会と地域住民をゆるやかにつなぐイベントを地域の公共施設を使って定期的に実施する

アイデアを深掘りしてまとめよう＝短冊づくり

地元野菜を活用したレストランを区役所に作って地域に人が溢れるように！

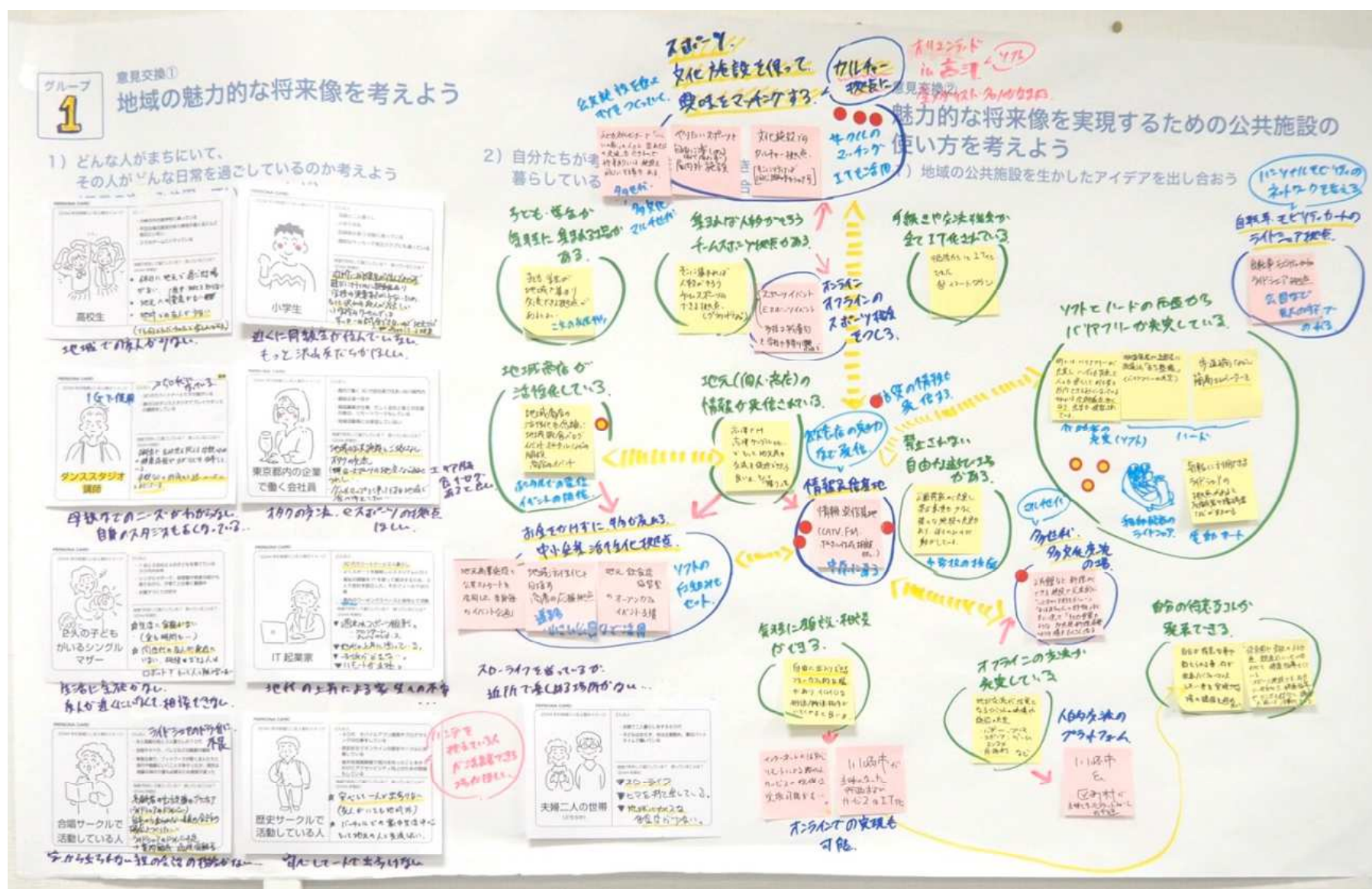
発表・まとめ

昨年度の振り返り – 第2回の様子 –



昨年度の振り返り - 第2回の様子 -

(参考) ワークシート：高津区1グループ



昨年度の振り返り - 第2回の様子 -

将来像実現のために公共施設がどのように使えるとよいかアイデアをまとめたもの（高津区）

1 ハイナルモビリティのライドシェア拠点 バリアフリーの充実 → 移動の充実 ハイナルモビリティのネットワーク化 公園などに設置し活用	2 老人向けの施設に限らず 徒歩で行ける施設を様々な世代が使うようにする。 (こども学校なども老人も使う) 11メートル以上!	3 人と会ったり交流したり出来る場所 ふるさと館を人が行き来する拠点に!
1 地域特化型「情報発信基地」 FM、ストリートTV、面白い、防災、防犯	2 安価な入居費でスタートアップ企業向け団地を! 施設の保全・管理はしかならず。地域の若年層が仕事して活かせるように。小中学校等の施設はきくと合ってる。	3 夢を文化スポーツ教育の中心拠点に 近隣小学校とリンクして多世代に活用できるように工夫
1 「オリエンテッド in 高津」 21世紀型まちづくり・未来の交流拠点 公衆施設を未来世代が活用 東部のマシナリ、西部のマシナリ、中部のマシナリ	2 地域内の交流イベントに対して公衆施設の貸出しの補助をする。 → 地域のなかりや、老人の外出支援の創出、健康寿命をのばす!	3 単身者、働き世代が使える喫茶付きコワーキングスペースを図書館に CO-WORKING 12
4 高齢者の働くしきみ × 空き家活用 ・隣りのある方の働く場にもなる ・インフラ整備にもなる ・農業にでこせう ・人も取り回すサービス(行政が担う) ・企業と連携をする	5 まちづくり・まちづくりを大切にして 既存の空きスペースを有効活用して、コミュニティを(学校・公園・空き家等) 家族・親戚・友人・知人・近所の人(11メートル以上) 家族・親戚・友人・知人・近所の人	3 規模は減らす 支援が必要な子どものケアサービスは無くならない。 支援学校・福祉サービスの連携強化
4 区役所が複合施設になるとよい ・図書館と統合する ・飲食できる場所になる ・多目的化にする ・人のつどい場所になる	5 高津区民センターを核として、様々な施設を連携させる (高津区民センター) 子どもたちの教育・育成を促して豊か化しよう	
4 歩道が広く安心して歩けるまち ・車イス・ベビーカーでも歩ける ・屋根がある歩道 ・学校のほかのバリアフリー化 ・外に出にくくなるまち	5 MADE in 高津を描く コミュニティから派生するブランド・情報・ビジネスを創出 拠点が多機能で、子どもが豊かに育つことができる	
	5 安全の基本として「安全」で災害に強い公共施設とまちづくりをする。 普段から通っている場所や避難所になる。民間スペースを使う場合は基本に添わせる	

1 川崎市からの説明④

本日の意見交換について

本日の意見交換について - 検討する施設 -

第2回ワークショップで意見交換していただいた



こうなった
らいいな！

「モデル地域の魅力的な将来像」

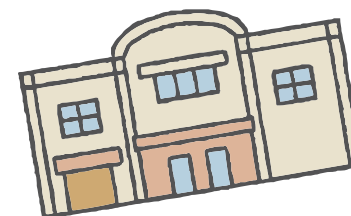
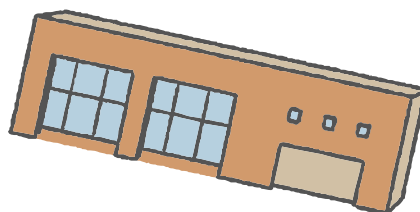
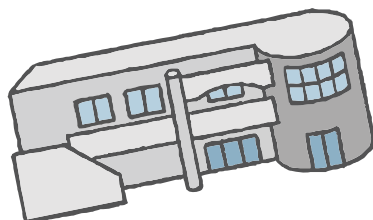
「魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方」



夕方以降にも使
えないかな？

を基に、第3回以降では、**身近な地域の将来像**や

将来に向けて公共施設に必要な機能について検討していきます。



本日の意見交換について - 検討する施設 -

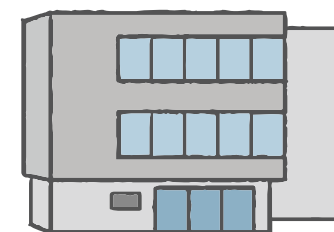
モデル地域内には、多くの公共施設が存在しています。

多くの公共施設の中からワークショップで
どのような施設を検討すればよいでしょうか？



川崎市としては、

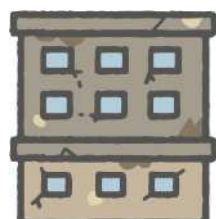
老朽化による施設機能の低下や、
施設の使われ方が課題だと考えています。



本日の意見交換について - 検討する施設 -

川崎市では

「より老朽化が進んでいる施設」かつ、
「施設の使われ方に課題がありそうな施設」を
検討の起点となる施設として選びました。



「起点施設」



※ 公共建築物は築40年頃に一定の修繕コストを要することから、その前段（3年程度）で施設の方向性の整理が必要であることから、令和7年度末時点で築37年以上の施設、かつ今ある施設を活用していくため、利用状況に課題がありそうな施設を選定しました。

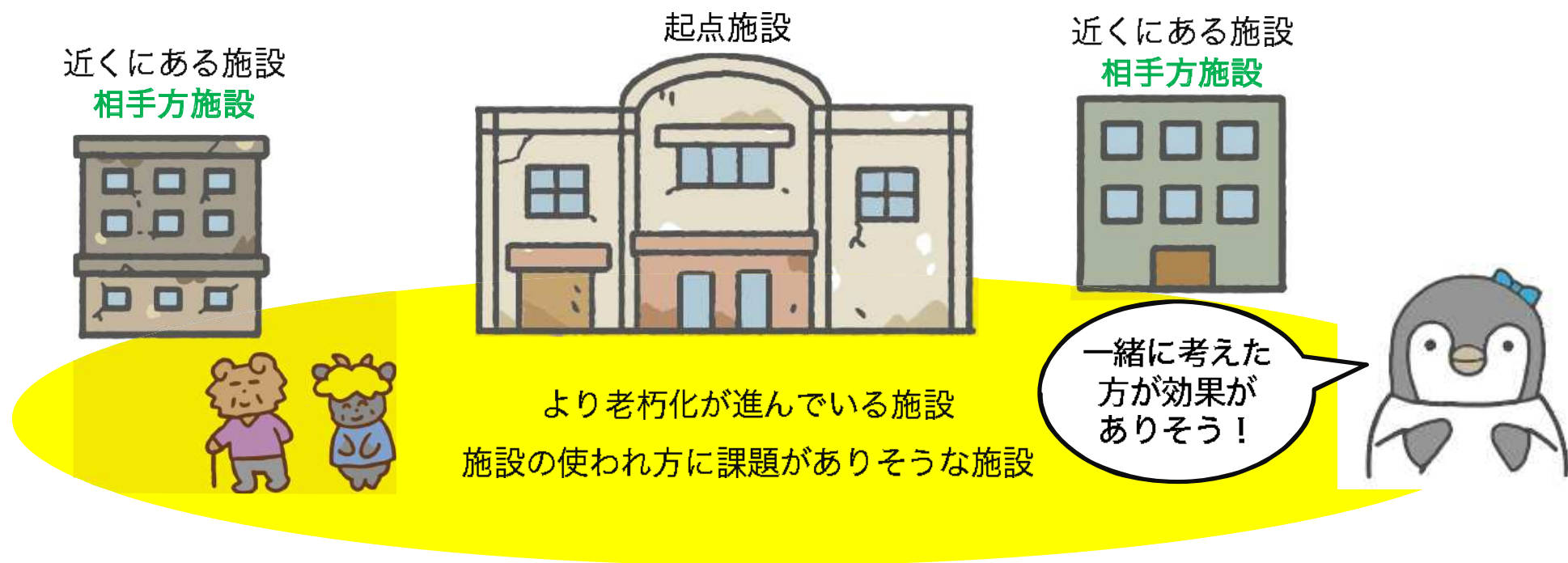
本日の意見交換について - 起点施設 -

高津区のモデル地域には **10の「起点施設」** があります。

- ・ 梶ヶ谷こども文化センター
- ・ 地域子育て支援センターかじがや
- ・ 上作延老人いこいの家
- ・ 高津老人いこいの家
- ・ 生活文化会館（てくのかわさき）
- ・ 男女共同参画センター
- ・ 北部身体障害者福祉会館
- ・ 地域福祉施設ちどり
- ・ 福祉パルたかつ
- ・ 高津休日急患診療所

本日の意見交換について - 相手方施設 -

また、起点施設だけではなく、
その近くにある施設と併せて広域的な視点で検討します。



ここでは、起点施設と併せて検討する施設を「相手方施設」と呼びます。

(相手方施設は「相手方施設の候補」の中から選びます。)

本日の意見交換について

地図上の表示について

起点施設

- ・・・検討の起点となる施設

相手方施設の候補

- ・・・起点施設と併せて検討する相手方施設の候補

検討から除いている施設

- ・・・公衆トイレや消防団器具置場等、特定の用途に限定される施設、及び建替や廃止等の方向性が決まっており、今回の検討から除いている施設

※ただし、施設の状況によっては、灰色で表示された施設についても、併せて考えた方が良さそうなものがある場合は、相手方施設に選ぶことができます。

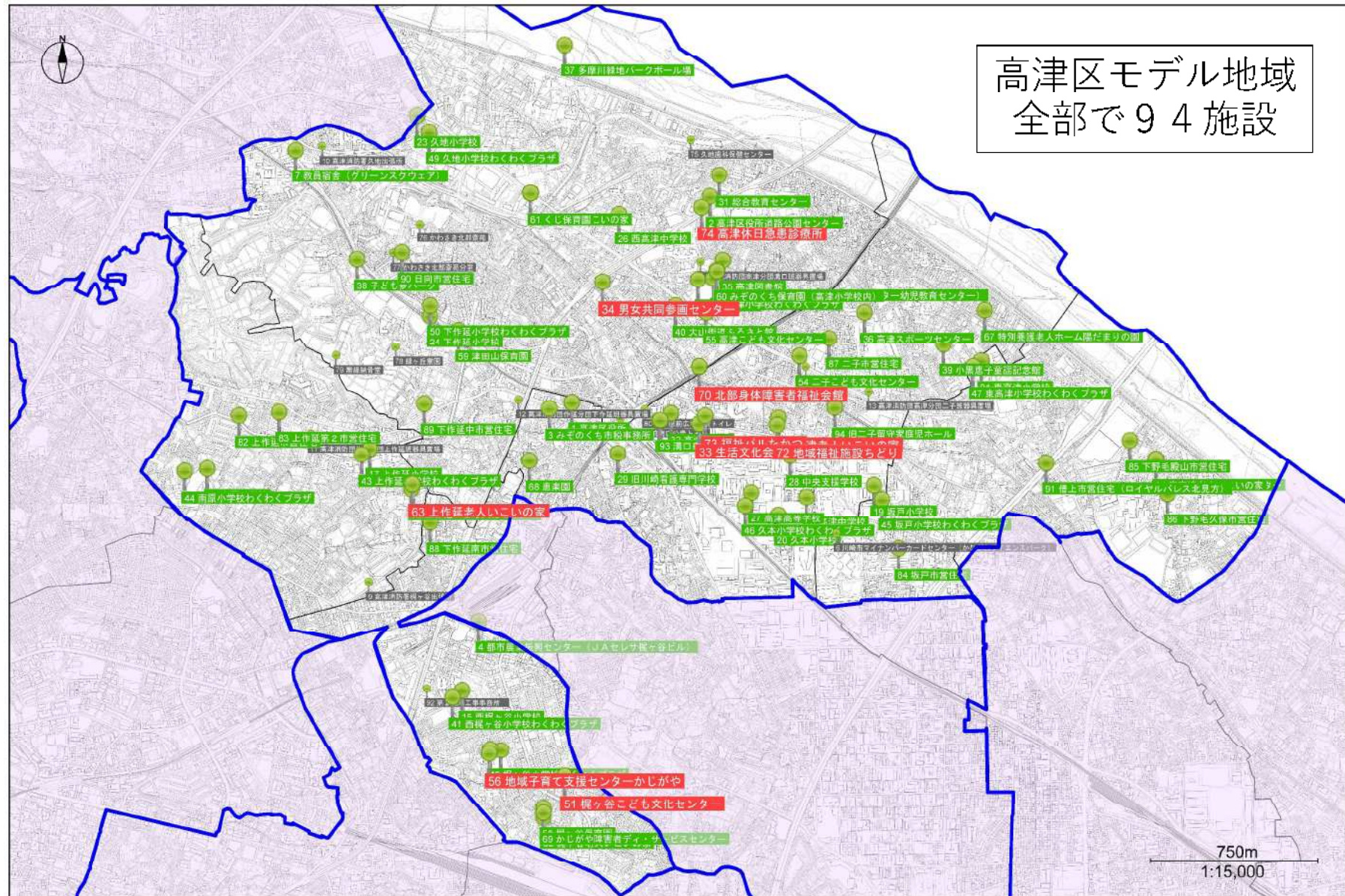
本日の意見交換について

【高津区のモデル地域全域】

起点施設

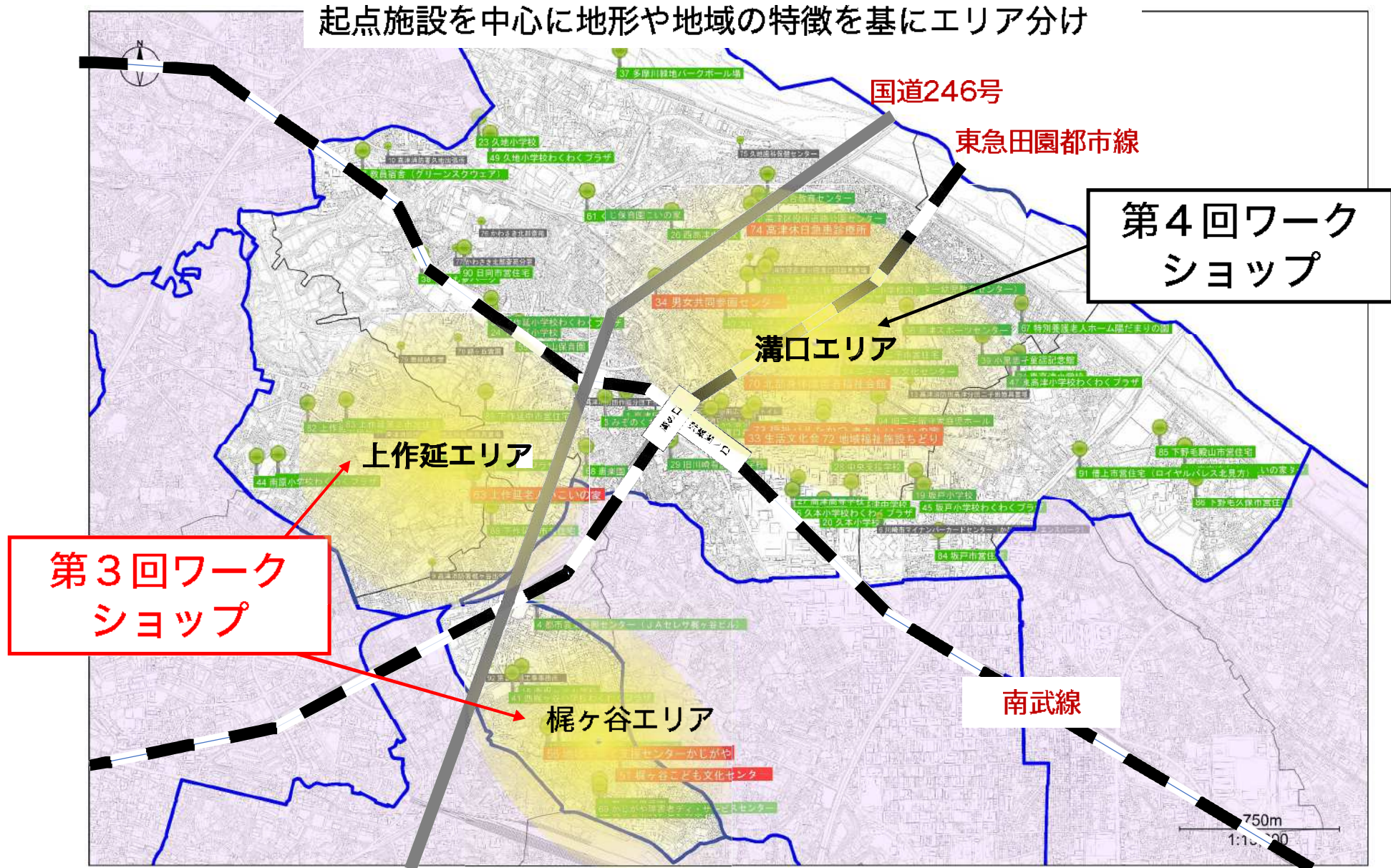
相手方施設の候補

検討から除いている施設



本日の意見交換について

【高津区のモデル地域全域】



本日の意見交換について

各エリアごとに、皆様に意見交換していただきます。

第3回では、

「上作延エリア」を1・2・3班

「梶ヶ谷エリア」を4・5・6班

で意見交換していただきます。

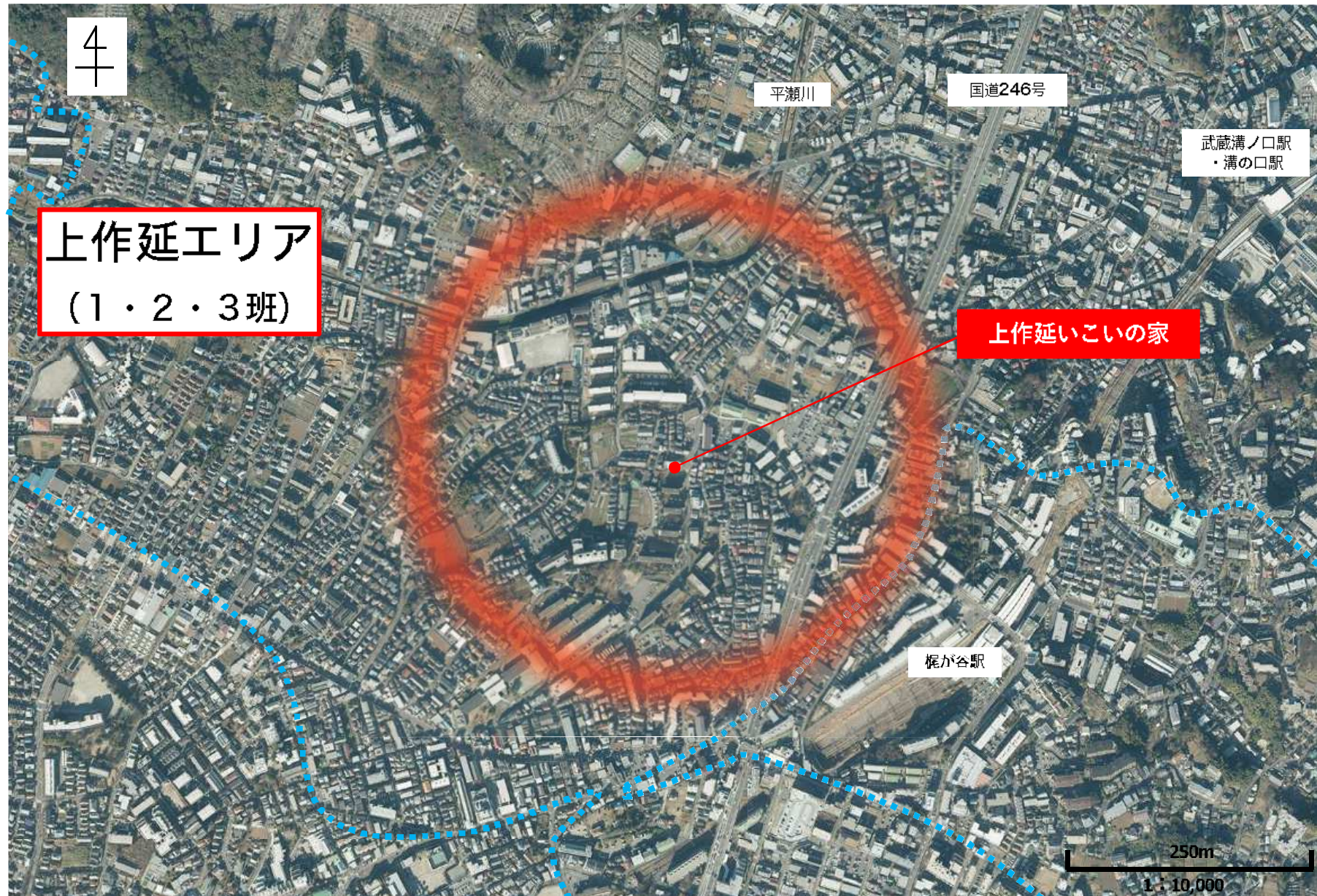
(残りの溝口エリアについては第4回に予定しています。)

- 上作延エリア -

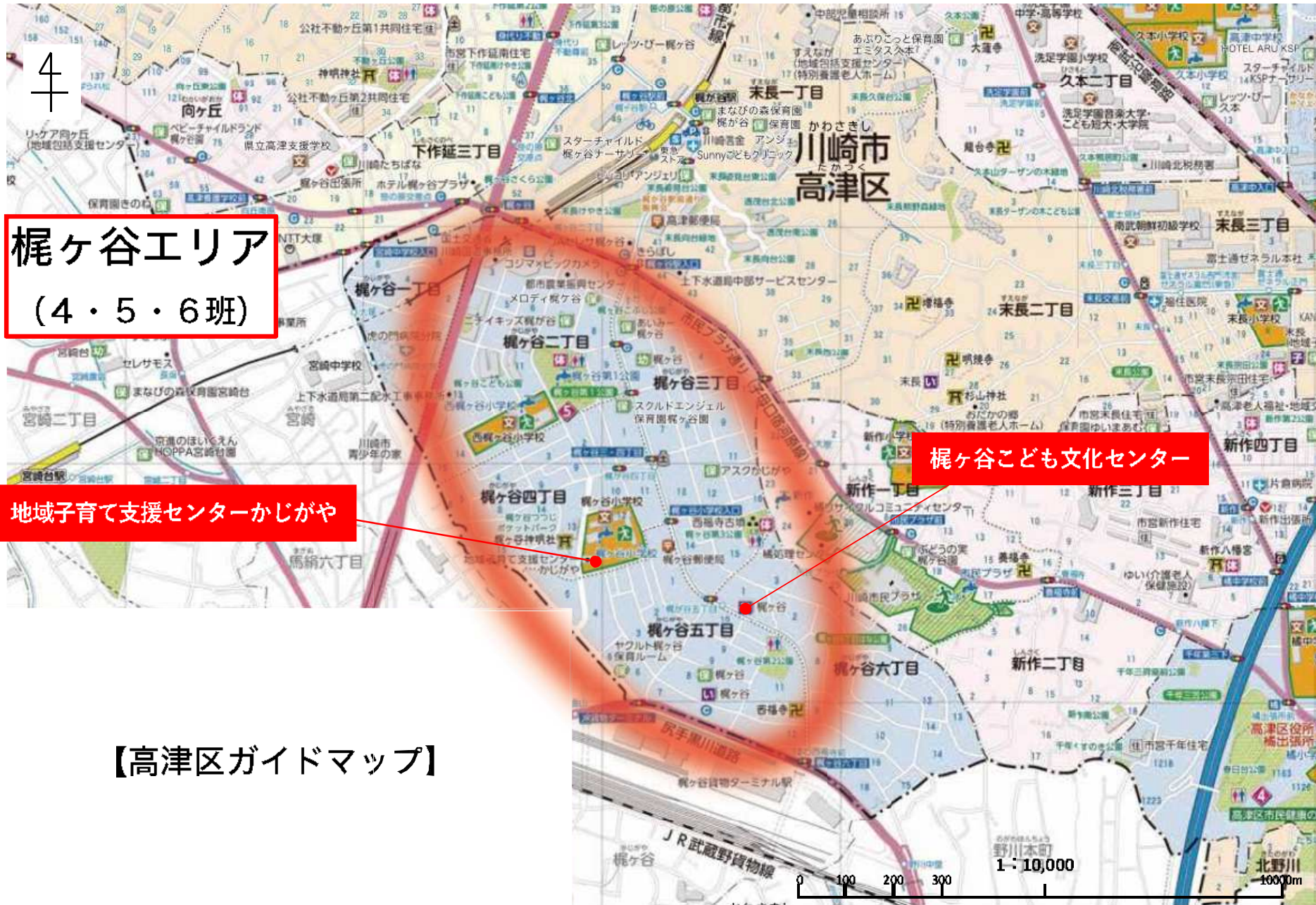


- 上作延エリア -

【航空写真】



- 梶ヶ谷エリア -



- 梶ヶ谷エリア -

【航空写真】



2

本日の進め方の説明

ワークショップの 進め方



意見交換の流れ

意見交換①

60分

起点施設周辺エリアの
将来像（暮らしやすいまち）を考えよう

起点施設周辺エリアの現状把握

将来像（暮らしやすいまち）を出し合う

理由について、聞き取り深める

みどり溢れる
まちなみで
ホッとできる

徒歩圏内に
サードプレイス
（居場所）
がある

入りやすく
居心地のよい
交流の場がある

出た意見をシール投票で重みづけ



将来像を表す**短冊づくり**

ホッとできる居心地の良いサードプレイスが溢れる
まち

中間発表・休憩

意見交換②

65分

起点施設にあつたらいいなと思う
機能やニーズを考えよう

起点施設の現状把握

将来像を実現するために
起点施設にあつたらいいなと思う
機能やニーズを出し合う（理由もなるべく書く）

地域の農を知る
拠点として
産直市場があると
よい

働き世代が多いため、
夜間にも利用できる、
打合せスペースがあると
よい（地域活動等）

相手方施設に
あった方が良
い場合につい
ても考える

シール投票で発表する
内容を絞り込む

発表・まとめ

起点施設周辺エリアの将来像 (暮らしやすいまち) を考えよう

1) 起点施設周辺エリアの現状把握をしよう

第2回ワークショップで意見が出された「魅力的な将来像」や地域の特徴を確認しよう

2) 起点施設周辺エリアの将来像 (暮らしやすいまち) を考えよう

「こんな地域になったらよい」「地域でこんなことが行われているとよい」という視点で、意見をふせんに書いてみよう
ファシリテーターはふせんに書いた理由を聞き取り、なぜそう思っているのか確認します。

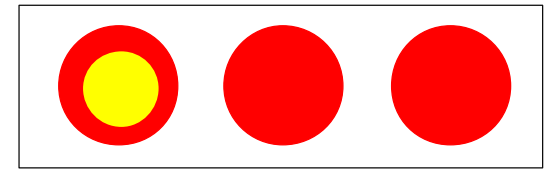
家族で楽しめる
身近な自然が
あるとよい

ふせん1枚につき、
1つのことを書こう

起点施設周辺エリアの将来像 (暮らしやすいまち) を考えよう

3) シール投票

2) で出された意見の中から、とても共感できる、とてもよいと思った意見に一人3票でシール投票しよう



↑一押しシール
一番よいと思うアイ
デアに貼る

4) 短冊のまとめ

シール投票の結果もふまえながら、起点施設周辺エリアの将来像を短冊にまとめよう

5) 中間発表

班で考えた起点施設周辺エリアの将来像を発表しよう

(短冊に書き出したことを中心に1分程度で簡単にファシリテーターが発表)

休憩



起点施設にあったらいいな と思う機能やニーズを考えよう！

1) 起点施設の現状把握をしよう

施設の情報（各部屋、築年数、機能等）を確認しよう



2) 起点施設にあったらいいなと思う機能や ニーズを考えよう

意見交換①で出された「起点施設周辺エリアの将来像」を元に、起点施設にあったらいいなと思う機能やそのニーズを考えよう

その機能が相手方施設にあった方がいい場合は書き入れよう

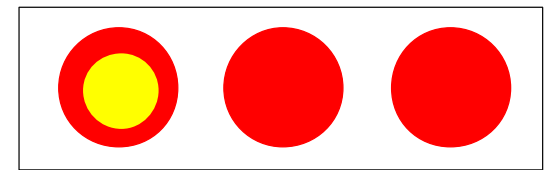
働き世代が多いため、
夜間にも利用できる、
打合せスペースがあると
よい（地域活動等）

なぜその機能があっ
たらいいかの理由を
書こう

起点施設にあったらいいな と思う機能やニーズを考えよう！

3) シール投票

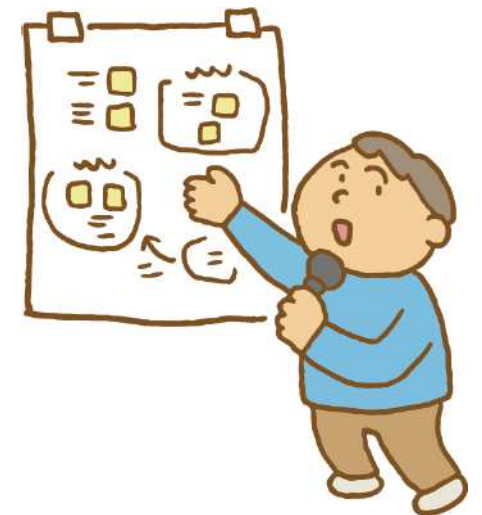
2) で出された意見の中から、とても共感できる、とてもよいと思った意見に一人3票でシール投票しよう



↑一押しシール
一番よいと思うアイ
デアに貼る

4) 発表

シール投票の結果も踏まえながら、班で出された意見を共有
しよう
(1班3分程度)



3

意見交換①

起点施設周辺エリアの
将来像（暮らしやすいまち）を考えよう(60分)

- 休憩 (10分) -

4

意見交換②

起点施設にあつたらいいな
と思う機能やニーズを考えよう！（65分）

- 発表・まとめ (20分) -

5

今後の予定・アンケート記入

今後の予定

■第4回 令和6年9月1日（日）14:00から

■第5回 令和6年11月17日（日）14:00から

次回は
溝口エリアです！



ありがとうございました！

アンケートにご回答いただき、謝礼のお渡しとなります。